

苗場山麓 ジオパーク

Vol.
20

振興協議会だより

【発行日】平成28年8月26日
【発行】苗場山麓ジオパーク推進室
【お問い合わせ】025-765-1600

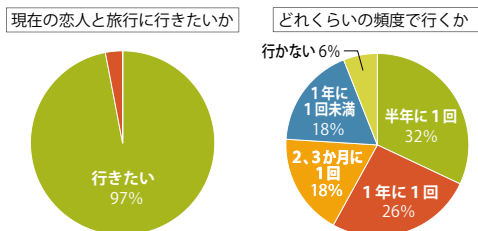
ネスパスでジオパークシンポジウム開催



7月18日の「海の日」に東京都表参道にあるネスパス新潟館で「苗場山麓ジオパークの可能性」をテーマにシンポジウムが開催されました。基調講演は、日本ジオパークネットワークの主任研究員でもある目代邦康氏から「苗場山麓ジオパークにおけるジオツーリングの可能性―国内外の動向を踏まえて」と題した講演を頂き、その後ジオガシ旅行団の鈴木美智子さんから「なぜにジオ菓子をつくるのか？」という設問に答える楽しい話が拝聴できました。さらに望月昭秀さんからはフリーマガジン「縄文ZINE」の編集目的を聞くことができました。ジオパーク振興協議会の佐藤雅一は、現状活動の実態について報告いたしました。

これら一連の活動と目的を踏まえた立教大学観光学部栢谷ゼミによる「縄文人のデート」をテーマとした報告は、ローデータの分析を念頭に「なぜカップル、デートなのか」、「スポットの選択理由」を検討し、ツアー案が提示されました。さらに課題として①ガイドにおける工夫、②バスツアーではプライベート感が薄れる（自転車の利用：看板や地図）、③トイレなどの施設整備、④Wi-Fi環境の整備などの具体的な指摘を頂きました。

恋と旅に関する調査



（調査概要）インタ ネット調査「恋と旅に関する調査」2012年12月21日～25日
対象：未婚で現在の恋人と1年以上交際し、1泊以上の恋人との旅行経験がある20代～30代の男女500名

◆宿泊旅行の同行形態（単一回答）



じゃらんリサーチセンター
「宿泊旅行の同行形態」
対象：全国15800人、2012年

立教大学観光学部が分析したカップルでの旅行に関する調査データ

第7回振興協議会総会



6月27日、栄村文化会館かたくりホールにて、平成28年度苗場山麓ジオパーク振興協議会総会が開催され、平成27年度の事業報告と決算報告、監査報告が行われました。そして、5月から新しく栄村長に就任された森川浩市氏から副会長に就任して頂きました。また、今年度から新たにガイド部会が創設され、苗場山麓ジオパークガイドの会代表の小島隆夫氏と副代表の中澤謙吾氏が協議会委員に就任されました。

そのほか、28年度の事業計画と予算案が提出され、資源探査部会、商品開発部会、広報部会、ガイド部会の各部会からの事業報告と事業計画の発表がありました。4議案が討論され、28年度の事業が実施されることが決定しました。

ジオパーク新潟国際フォーラム2016



体験コーナーは大盛況



去る7月27・28日の両日、新潟市の朱鷺メッセを会場に、糸魚川・佐渡・苗場山麓の3ジオパークによる国際フォーラムが開催されました。会場では、フォーラムの他に物産販売ブースと子ども体験コーナーが設置され、両日で2,700人の参加があり大盛況でした。

主題であった国際フォーラムは、アジア圏域のネットワークの整備を推し進めるために各国の活動の紹介がありました。特に、韓国のチェジュ島における世界遺産と世界エコパーク、そして世界ジオパークの3ライセンスの意義と運用方法は、各ライセンスの保護・保全・活用の捉え方と活動が整理されており学ぶことの多い発表でした。また、香港ジオパークにおける民間連携によるマネジメントにも今後の日本ジオパーク活動が学ぶべき点が多い報告でした。これら整備されたジオパークネットワークの実態に触れたモンゴルやロシアの地質学者は、将来的可能性を敏感に察知し、帰国後に世界ジオパーク申請とアジア圏ネットワーク整備に関して前向きに検討したい旨の意見が披露されました。

苗場山麓ジオパーク振興協議会は、日本ジオパークの範疇にずっとしりと腰を下ろし、日本ジオパークネットワークにおいて3Aの評価を得て、地道な品質管理活動が持続できるよう研鑽したいものです。

ジオパーク新潟国際フォーラムへお越しいただいた皆さま、ありがとうございました！

絵解きジオパーク イラスト：鈴木夏海



真夏の太陽の下、大瀬の滝に飛び込む子供達。冷涼なマイナスイオンの環境は、貴重なパワースポットです。なぜに大瀬の滝が生まれたのでしょうか？

《コラム》 雑魚川の大滝へ

8月9日、天気は雨と曇りが交互にやって来る怪しい空模様、かすかに明るい空に期待を込めての出発となる。

車を止め、案内板に従い雑魚川へと続く散策道を下りる事になるが、予想に反して踏み跡もしっかりしていて、川へ下る利用者（釣り人？）が多いことが確認できる。アップダウンを繰り返しながら下りて行くと、右手奥（上流側）の流れに心奪われることとなる。「サラサラと流れる」、この言葉がこの山深い地に合うかどうかは分からないが、目の前の雑魚川はまさにその様相を呈している。数百メートル下ると大瀬の目の前に飛び出すことになるのだが、さっきのサラサラ流れを形成していた地形が手に取るように確認できる。

よし、次はあの「サラサラ」まで行ってみよう！



苗場山麓ジオパークのジオサイト

57 の見どころを随時紹介していきます

船山神社の大欐



所在地 津南町船山

種別 自然

船山集落の船山神社境内にある大きなケヤキです。

幹周5.5m、高さ25m、樹齢300～400年と推定されます。

社寺林には、他に3本のケヤキの大木があります。

昭和63年4月25日、津南町の天然記念物に指定されました。

夫婦滝



所在地 栄村切明

種別 地質

夫婦滝は、雑魚川と魚野川の合流点にかかる滝です。

切明橋の上から下流に向かって右岸奥に遠望できます。新緑や紅葉の時期には、二筋の白い流れが美しく背景に映えます。

切明周辺には、平滑な節理の緻密な石英閃緑岩が結東層の変質火山岩を北北西－南南東方向に貫入しています。この地質構造にかかる滝です。

※地質学の学説は複数あり、現在も研究が続いています。そして、本地域の調査研究がこれからも行われる必要があります。

ジオサイトフォトコンテスト入選作品をJ R飯山駅に展示



J R越後湯沢駅での展示につづき、8月2日よりJ R飯山駅にて、秋山郷ジオサイトフォトコンテスト入選作品の展示をさせていただきます。場所は、中2階エントランスのカフェ脇、電車を利用しない人も出入りできるスペースです。

最優秀賞と優秀賞（ジオ・エコ・カルチャー賞の3作品）の合計4作品を展示し、苗場山麓ジオパークのPRパネル、パンフレット類も置かせていただいています。

皆さんもお近くにお出かけの際は、ぜひお立ち寄りください。

苗場山麓ジオパーク オリジナルフレーム切手 発売！

苗場山麓ジオパークのさらなる認知度アップをと、オリジナルフレーム切手の販売が開始されました。

苗場山麓の自然と歴史を感じることができる、ジオサイトの写真を使用したフレーム切手です。52円切手5枚と82円切手5枚で1シートになっており、シートの上部には、苗場山麓ジオパークPRソング「Takaramono」の一節が記されています。

販売は、魚沼地区61郵便局のほか、津南町観光協会、なじもんで行っています。限定1000部なのでお早めにどうぞ。



総合学習で温泉調査



今春から津南小学校4年生が、総合学習で苗場山麓に点する温泉を調査しています。

7月15日、中津川沿いの小赤沢、屋敷、上野原、和山、切明の各温泉施設を訪れた子どもたちは4班に分かれ、実際に湯船に浸かったり、泉質、成分、効能などを調べて記録しました。小赤沢の楽養館では、鉄分で赤く染まったタオルに感動しきりました。

〈お知らせ〉苗場山麓ジオサイクリングが開催されます

つなんバイシクルクラブ(TBC)の協力を得て、9月25日(日曜日)に「苗場山麓ジオサイクリング」が行われます。

苗場山麓ジオパークの多様な地形を走行するサイクリングイベントです。今回は参加費無料のモニターサイクリングとなります。参加者はイベント後、アンケートにご協力いただきます。

コースにはエイドステーション（水分や食べものを補給できる場所）を設け、地元の食材などをふるまう予定です。参加年齢は高校生以上。

詳細は、
つなんバイシクルクラブ
HP (tsunanbc.com)
をご覧ください。



ジオパークパンフレット英訳版完成

苗場山麓ジオパークのパンフレットの英訳版ができました。ジオサイトマップと同じく、既存の日本語版をベースに、認定ガイドのクリフト・ロバートさんと、奥様の伊緒さんに翻訳していただきました。

ジオサイトマップの英訳版と併せて、ガイドのテキストにも活用していきたいと考えています。



絵解きジオパーク その答えは

結束層の玄武岩の溶岩が海水で急激に冷やされ破碎した状態で固まり、止まることで段差が生まれ、滝となりました。この岩石は、水冷破碎溶岩（ハイアロクラスタイト）と呼ばれています。